

震災ボランティア派遣 FAX通信③



2011年4月19日

各組合・地域労連

御中

青森県労働組合総連合

青森市大野字若宮165-19

TEL 017-762-6234、FAX 017-729-2186

メール ao110@kenrouren.jp

【発信者】事務局長 有馬美恵

瓦礫の片付けをしています

by 大船渡 第1チーム



● ボランティアの1日の流れ ●

- ①朝に当日の作業内容が知らされる。
- ②社協で決めた作業時間が8:30～16:00。宿からはボランティアセンターが用意した車に乗って移動する。宿に戻るのはだいたい17:00頃。
- ③先に女性がお風呂入って、次に男性が入れ替わりで入る。
- ④19:00夕食時間。
- ⑤22:00消燈で暗くなるのでみんな寝る。

【4月18日の活動日誌】～三陸鉄道南リアス線甫嶺駅付近の民家の瓦礫の片付けをボランティア隊12人であつという間に午前には終わった。昼はカップメンとおにぎりが2個。天気良好。午後は午前と同じ地域の75歳の独り暮らし男性宅プレハブの片付けに入った。プレハブは水が入り1メートルも冠水した。仮設住宅を申し込みでいるので、ゴミを出して仏壇やベッド、たんすを元に戻して欲しいとの要望に、12人で取りかかり3時間かからず終了した。今夜全労連から12人が到着の予定だと事務局から報告があつた。田中、今の二人は多少の筋肉痛に見舞われている。準備してきたがあまり必要でないと思ったものは、作業に携行するリュック、ホッカイロ。「スタッフ」と書いたジャンパーが貸与されるので、みんなそれを着ている。あづま荘には電気が供給されている。固定電話は使えない。1つしかない風呂は、女性と男性が時間を区切って交替で入る。シャンプー・石鹸もある。洗濯機もあつた。部屋は大部屋で、トイレはウォシュレットです。